



平成26年度第10回

高知大学大学院博士課程  
医学専攻

# DCセミナー

【理系】

日時：平成27年1月30日(金)

場所：大学院棟セミナー室

演題：がん幹細胞の性状解析と  
それに基づく治療戦略の考案

講師：慶應義塾大学医学部先端医科学研究所  
遺伝子制御研究部門

佐谷 秀行 教授

内容：

がん組織は、一様の性質を持つがん細胞によって構成されると考えられていたが、「がん幹細胞」と呼ばれる大本になる少数の細胞と、その細胞から作られる大多数の下流の細胞、つまり女王蜂と働き蜂に相当する階層性のある細胞で構成されていることが分かってきた。このがん幹細胞こそが、各種治療に対して抵抗性を示し、再発や転移の原因になる細胞であると考えられている。私達の研究室では、がん幹細胞の性質を維持するために働いている分子機構を人工がん幹細胞(induced cancer stem cell, iCSC)を用いた動物モデルにより明らかにし、それを標的とした薬剤開発プロジェクトを進めている。講義ではがん幹細胞の概念と、それに基づいて変化すると考えられる今後のがん治療戦略について述べ、討論を行いたい。

医学専攻長：杉浦 哲朗  
担当：脳神経外科学講座

\* 大学院の学生(博士課程医学専攻、平成20年度以降の入学生)は、4年1学期までに専門研究者・教育者の講演を10講演以上聴講し、内3講演は文系の講演を聴講すること。なお、DCセミナーは必修科目(2単位)です。講演ごとに所定のDCセミナー出席確認票を持参し、講演者あるいは担当教員(世話人)から押印(サインも可)を受け、レポートを作成し、指導教員に提出すること。